

ブルーベリー今年も豊作

福祉事業所で収穫進む

知的障害者らの就労支援を行う社会福祉法人進和学園（出縄守英理事長）の施設「しんわルネッサンス」（平塚市上吉沢）の観光農園で7月9日、ブルーベリーの収穫が行われた。

同園にある300本ほどの木に「ティフブルー」や「ホームベル」などのブルーベリーが実っている。この日は近隣の福祉施設5カ所から集まった「ブルーベリースポーターズ」15人が収穫作業に参加し、大きく実った果実を丁寧に収穫した。メンバーには100gにつき60円の工賃が支払われる。

参加した同施設利用者の高橋光二さん（41）は「つぶさないようにそつと取ると甘くて美味しい

実が取れます」と収穫方法を話した。

1シーズンで900kg以上を収穫するブルーベリーは、市内外の店で販売されている。同園では8月末まで（予定）一般客の収穫も受け付けており、入場料500円、小学生以下無料。収穫100gにつき200円で持ち帰ることができる。前日までに予約。問同施設 ☎0463・58・5414



収穫する施設利用者